

事務事業名	《H23新規》芦安文化財マップ作成事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2011-12537					
	□ 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久					
			所属担当	文化財担当	担当者名	斎藤秀樹					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	05	020	15	
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠								
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 ~ 26 年度)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 芦安地区の文化財を広く周知し活用を図るため、文化財マップ及び看板等を作成・整備			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				消耗品	200						
						計	200				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
25年度活動実績	芦安地区文化財マップの作成印刷製本
26年度活動予定	芦安マップと連携した看板作成
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
一般市民、市外訪問者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
芦安地区にある文化財を広く市内外に周知することで、市民の郷土愛の醸成とともに地域づくりを推進する	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
歴史的文化的遺産をよりよい形での次代への継承が行なわれる 市民のふるさと意識や郷土愛の醸成に寄与する	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アマップ印刷数	部
イ文化財デジタル化	件
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア市民	人
イ市外訪問者	人
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アマップ活用数	件
イMナビのアクセス数	件
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア文化財・伝統芸能の保護や継承の市民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	200	200	200	207				
		事業費計(A)	千円	200	200	200	207	0	0	0	
		正職員従事人数	人	1	1	1	1				
人件費	人件費	延べ業務時間	時間	160	160	160	160				
		人件費計(B)	千円	728	728	728	728	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	928	928	928	935	0	0	0	
活動指標	ア	部		0.0	7,000.0	6,500.0	0.0				
		イ	件	0.0	1.0	0.0	1.0				
対象指標	ア	人		72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	0.0	0.0	0.0	
		イ	人	7,200.0	7,200.0	7,200.0	7,200.0				
成果指標	ア	件		0.0	1.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
		イ	件	0.0	200.0	1,000.0	4,000.0				
上位成果指標	ア	%		38.0	38.0	38.0	38.0	0.0	0.0	0.0	
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年度から過疎地域活性化事業の一環として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	芦安地区では高齢化が進み、文化財を適切に保全し継承する施策がさらに必要となってくる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	文化財を広く周知するマップや案内板等の作成やそれを生かしたウォーキングなどの要望がある

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	完成したマップ購入のため、改善が必要とは認められない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	≪H23新規≫芦安文化財マップ作成事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域住民や子供たちが地域の歴史の成り立ちを知りふると意識や郷土愛を持つことが出来る
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプス市の歴史、史跡等調査してきたものを市民に伝える手段として妥当。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 今年度においてマップ作成が完成するとこの事業も終了する
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 作成したマップを利用し、観光などと連携することでより地域活性化につなげられる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 マップ等が作成できれば文化財教育普及事業等で活用出来る <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 芦安の歴史・文化が周知出来ない <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 マップ、案内板等が完成すれば終了となる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 マップが完成しており、削減すべき方は実施済みである。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 マップ代だけの予算。これ以上の削減は出来ない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民全体へ芦安の文化財が周知出来る。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	芦安文化財マップが作成されることで、より一層の活用でき文化財が周知され、芦安の過疎対策のための一助となる。文化財Mなびとマップが連携しており、現地の芦安の魅力をインターネットを使い多くの人に知っていただくための基盤ができた。事業最終年度の今年度は、文化財の看板設置を整備。今後はMなびもマップも多くの方々により利用されるよう広報に努める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 作成したマップを効果的に利用し、文化財保護および地域活性化に結びつくよう、さまざまな団体・部署と連携する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 関係団体、部署との連携を緊密にし、戦略的にマップを活用する。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑨																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					